



2023年度

事業報告書

さんむわくわく館

NPO法人教育サポートGAA

活動の概要

開館日数

123日

利用者数

登録者数 83人

年間延べ利用者数 1,025人

1日平均延べ利用者数 8.3人

時間帯別利用者数 9:00~12:00 4.8人

12:00~13:00 3.3人

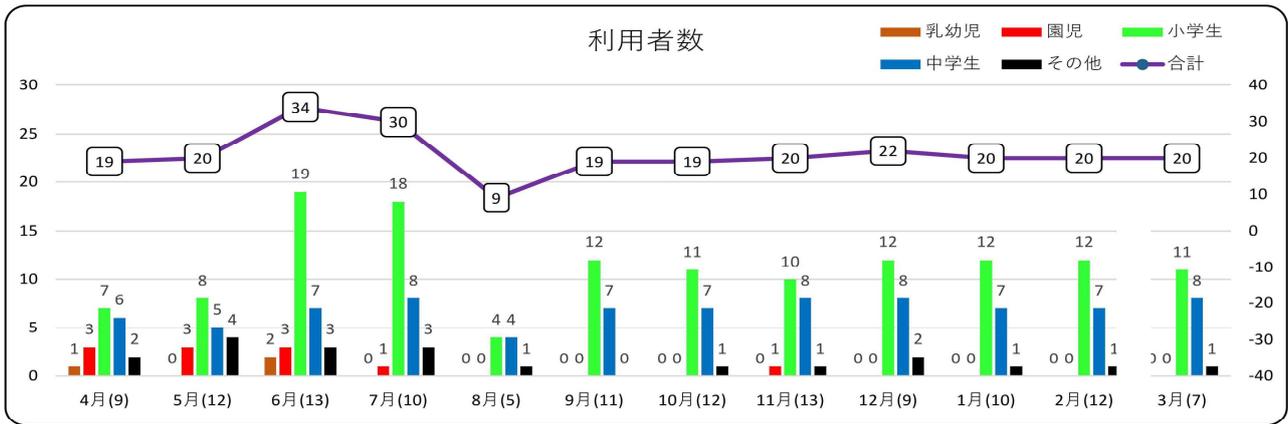
13:00~15:00 4.8人

16:00~19:00 4.7人

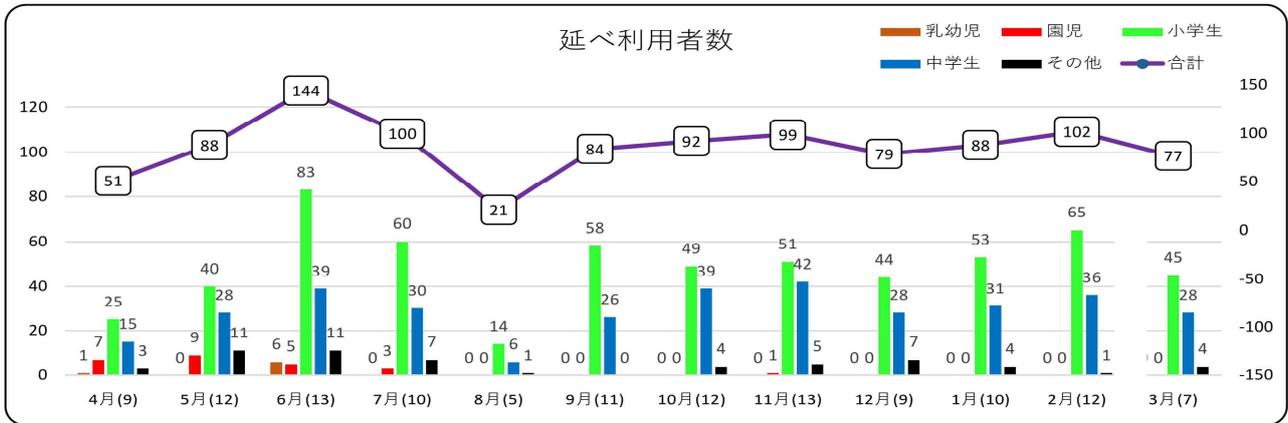
利用者の年齢層 0歳~18歳

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開館日数		9	12	13	10	5	11	12	13	9	10	12	8
利用者数	乳幼児	1		2									
	園児	3	3	3	1				1				
	小学生	7	8	19	18	4	12	11	10	12	12	12	11
	中学生	6	5	7	8	4	7	7	8	8	7	7	8
	中卒者	2	4	3	3	1		1	1	2	1	1	1
	計	19	20	34	30	9	19	19	20	22	20	20	20
平均利用者数	乳幼児	0.1		0.2									
	園児	0.3	0.3	0.2	0.1				0.1				
	小学生	0.8	0.7	1.5	1.8	0.8	1.1	0.9	0.8	1.3	1.2	1.0	1.4
	中学生	0.7	0.4	0.5	0.8	0.8	0.6	0.6	0.6	0.9	0.7	0.6	1.0
	中卒者	0.2	0.3	0.2	0.3	0.2		0.1	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1
	計	2.1	1.7	2.6	3.0	1.8	1.7	1.6	1.5	2.4	2.0	1.7	2.5
延べ利用者数	乳幼児	1		6									
	園児	7	9	5	3				1				
	小学生	25	40	83	60	14	58	49	51	44	53	65	45
	中学生	15	28	39	30	6	26	39	42	28	31	36	28
	中卒者	3	11	11	7	1		4	5	7	4	1	4
	計	51	88	144	100	21	84	92	99	79	88	102	77
平均延べ利用者数	乳幼児	0.1		0.5									
	園児	0.8	0.8	0.4	0.3				0.1				
	小学生	2.8	3.3	6.4	6.0	2.8	5.3	4.1	3.9	4.9	5.3	5.4	5.6
	中学生	1.7	2.3	3.0	3.0	1.2	2.4	3.3	3.2	3.1	3.1	3.0	3.5
	中卒者	0.3	0.9	0.8	0.7	0.2		0.3	0.4	0.8	0.4	0.1	0.5
	計	5.7	7.3	11.1	10.0	4.2	7.6	7.7	7.6	8.3	8.8	8.5	9.6

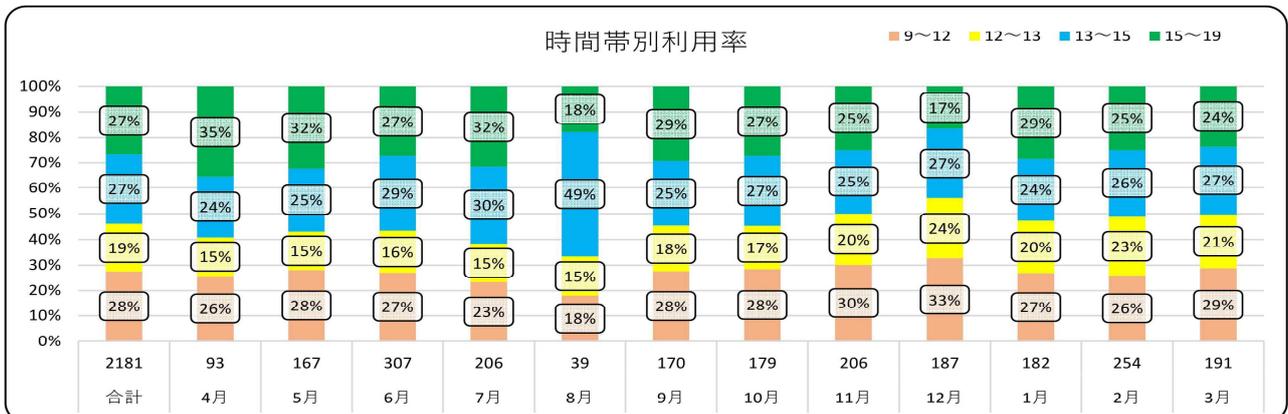
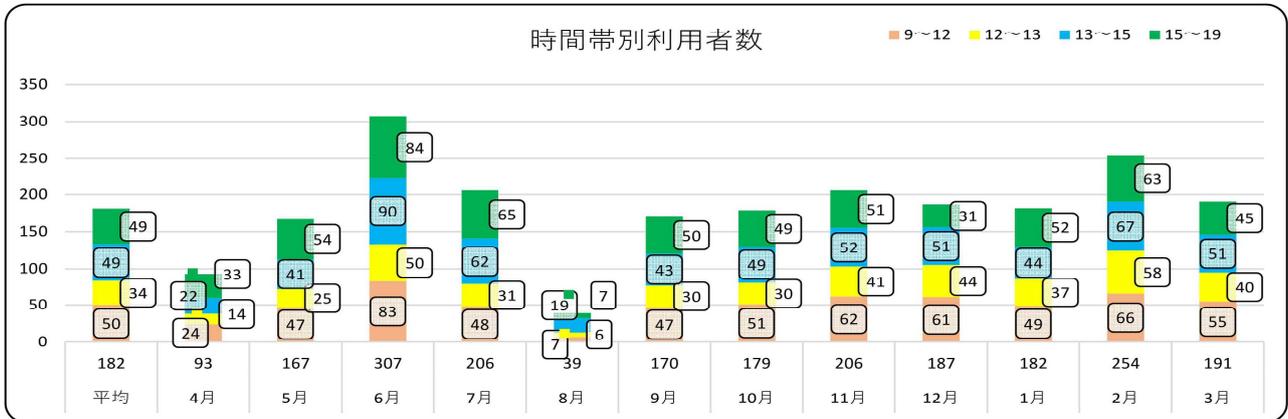
年間利用者数



* () 開館日数



* () 開館日数



事業費

年間予算 7,650,000円

事業経過

4月	第1期開始
	山武市校長会事業説明
5月	「さんむわくわく館だより」第4号発行（市内全児童生徒に配布）
7月	第1期終了
	プログラミング講座（初級）
	書道体験（席書）
	夏休み子ども学習会（小学生）協力
8月	プログラミング講座（中級）
9月	第2期開始
	山武市教育委員会「日本語交流会」会場提供（～2月）
10月	「さんむわくわく館だより」第5号発行（小中学校教職員に配布）
	子ども秋の学習会（中学生）協力（～2月）
12月	プログラミング講座（上級）
	書道体験（書初め）
	第2期終了
1月	第3期開始
2月	料理実習（スイートポテト作り）
3月	第3期終了

まとめ

- 利用登録者が増えた。
- 1日当たりの利用者数は安定している。
- 利用時間は、午前午後ともほぼ同様の割合である。
- 個別の支援計画の作成によって最適な学び支援ができた。
- ICT機器（タブレット端末や3Dプリンター等）によって学びが充実した。
- 利用者が同時に10名以上いると個別対応が手薄になる。
- スタッフの昼食・休憩時間が十分に確保できていない。
- 備品が増えて収納場所が足りない。屋外倉庫が必要である。
- 自転車での来館者がいる。自転車置き場が必要である。

資料

さんむわくわく館だより

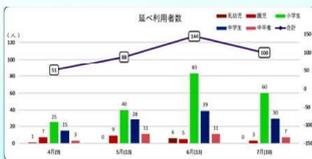
さんむわくわく館だより

第5号 2023年10月6日発行
NPO 法人教育サポートGAA

利用者が増えています

例年2学期は、学校に行きづらさを感じる子どもが増える時期ですが、先生方の周りの子どもたちの中に気になるお子さんはいませんか？
さんむわくわく館は、ほっとできる場所を見つけないかと思っている子どもや自分の時間を有意義に過ごしたいと思っている子どもたちの居場所であると共に、先生方や保護者の方々が自由に相談できる場所です。
また、今月からオンラインによる遠隔学習支援が始まります。宿題支援としてばかりでなく、学校を休みがちなお子さんへのアウトリーチとしてもご利用いただけます。皆様のご利用をお待ちしております。

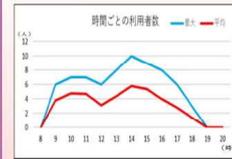
《月ごとの利用状況》



4月の利用者は、前年度末の91人と比較すると減少していますが、6月には前年度最高値の125人を超えています。

7月は、開館日数が少なかったことで減少しています。利用者は、小・中学生が中心ですが、乳幼児から中学校卒業まで、幅広い層の利用があります。

《時間ごとの利用状況》



開館から閉館まで、どの時間帯も利用されています。
このグラフだけでは読み取れませんが、昨年度と比較すると放課後の利用者が増えています。
学校の宿題に取り組んだり、興味のあることを深めたりと、誰もが「自らの学び」を意欲的に進めています。

サポート内容

- ◇ 学習（学び）支援
- ◇ 日本語学習支援
- ◇ 基本的な生活支援
- ◇ 保護者相談支援
- ◇ 食に関する学び
- ◇ On-line アウトリーチ（遠隔会議システムを使った相談）

開館日時

月・水・木曜日 9時～19時
※祝日、年末年始、夏・冬休業日を除く

利用対象

0～18歳までの子どもとその保護者
※未就学児は保護者同伴

利用料

無料
※事前に登録と予約が必要

《お問い合わせ》

さんむわくわく館

☎ 0475 (53) 5976

月・水・木曜日 9時～19時

※祝日、年末年始、夏・冬休業日を除く

山武市成東 2553-1 (原切不動院脇)

Email: gaa_wakuwakukan@gmail.com

HP: <https://gaaokuwakukan.wixsite.com/my-site-1>



NPO 法人教育サポートGAA

教育活動全般にわたる支援を目指して設立されたNPO法人で、学校内での支援のほか、漢検やプログラミング講習など様々な講座を行っています。また、子ども第三の居場所事業として「さんむわくわく館」を運営しています。

Supported by THE NIPPON FOUNDATION

さんむわくわく館は日本財団の助成を受けて活動しています。

さんむわくわく館だより

第4号 2023年5月22日発行
NPO 法人教育サポートGAA

さんむわくわく館は、ほっとできる場所を見つけないかと思っている子どもたちや自分の時間を有意義に過ごしたいと思っている子どもたちの居場所です。

自分がしたい勉強を、わかるまで、好きな速さで学ぶことができます。



一人1台ずつのパソコンを使って、ロボットをコントロールすることができます。また、VRゴーグルをつけて、世界中を探検することもできます。



ピアノや絵など、自分が取り組みたいことに打ち込むことができます。



楽器が弾けなくても、パソコンで作曲することができます。

自分のペースで学んだり、遊んだりしながら 自分を発見して わくわくできる場所

家から出たくないとき、家にいるままで、わくわく館のスタッフや友達と話したり、勉強したりできます。保護者の方の電話での相談も受け付けています。

日本語の使い方に不安があるとき、日常生活で困らないように、一人一人のレベルに合わせて個別に支援します。自分のペースで進められるので安心して学べます。

1日の過ごし方や過ごす時間帯を自分の興味や関心に合わせて組み立てることができます。時間や場所を自由に使って、安心してゆっくり過ごしましょう。みなさんのやりたいことができるようにスタッフ全員で応援します。



詳しくはHPをご覧ください。「さんむわくわく館」で検索 <https://gaaokuwakukan.wixsite.com/my-site-1>

《五つの理念》

- ◎ 《一人一人のペースを大切にします》 【ほっとできる場所】
みんなといっしょに過ごすことも、一人でゆっくり過ごすこともできます。
- ◎ 《一人一人の違いを認め尊重します》 【自分で決められる場所】
週に何日、いつ来ていつ帰るか、1日をどう過ごすかなど、自由に決められます。
- ◎ 《一人一人の興味・関心に寄り添います》 【好きなことにチャレンジできる場所】
好きなことや、やりたいことに、時間とスペース（施設・設備）をたくさん使えます。
- ◎ 《どうしたら実現できるか一緒に考えます》 【応援してもらえる場所】
どうしたいかを見つめることからできるようなるまで、親身に応援してもらえます。
- ◎ 《自分たちの力で創り出すまで見守ります》 【自分たちで創れる場所】
みんなでアイデアを出し合い、日々の過ごし方を自分たちでプランできます。

活動のようす

テーブルサイズがちょっと小さめですが、卓球ができるようになっていきます。



最初は、スタッフと卓球をしている利用者が多かったですが、最近では、利用者どうして声を掛け合って、試合をしたり、ラリーを楽しんだりしています。

アップライトピアノが、いつもでも弾けるようになっていきます。



生ピアノでの練習は楽しいようで、思いっきり弾いています。弾き終わった後は、満足した笑顔で、ニコニコしています。

こんな活動もしています!!

《プログラミング講座》

夏休み中にプログラミング講習会を4回開催しました。(初心者コース3回、中級者コース1回)



プログラミング前から電子黒板に映し出されるロボットの制御プログラムの説明にのめり込み、作成したプログラムでロボットが動き出す興奮は絶頂。もう誰も止められません。

《オンライン無料塾》

今月から中学生を主な対象とするオンラインによる「無料塾」を開講します。

帰宅後一人で勉強している子どもや、何らかの課題を抱えて登校できない子どもたちの学習を支援します。昨年度の試行では、保護者の方から「子どもの見守りになって安心だった」という声をいただきました。

パソコンやスマートフォンがあれば誰でも参加できます。プリント学習やテスト対策、受験勉強など広くお手伝いします。



《日本語学習交流会》

城西国際大学と山武市教育委員会共催の「外国人生徒のための交流」会場としてさんむわくわく館を提供しています。

さんむわくわく館

0475 (53) 5976

月・水・木曜日 9時～19時

※祝日・年末年始・夏・冬休業日を除く

山武市成東 2553-1 (原切不動院脇)

利用対象 0～18歳までの子どもとその保護者 (未就学児は保護者同伴)

利用料 無料 (事前に登録と予約が必要)

Supported by THE NIPPON FOUNDATION

本館は日本財団の助成を受けて活動しています。

プログラミング講座

- ◇ ねらい 簡単なプログラムを作成してロボットや3Dプリンターを思い通りに動かす。
- ◇ 日時 (1) 初級：7月24・31日、8月7日
(2) 中級：8月21日
(3) 上級：12月10・17日
- ◇ 状況
 - ・子どもたちは、とても熱心に取り組み、自分なりに工夫して楽しんでいった。
 - ・級別にすることによってスキルに応じた支援ができ、子どもの満足感が高まった。
 - ・プログラミングを通して判断力や表現力を高めることができた。

プログラミング講座



「思いのままにロボットを動かそう！」

わたしをうまく動かして！

【開催日時】

場所		日時
さんむわくわく館 (浪切不動産脇) 山武市成東2553-1	初級講座	7月24日(月) 13:10~15:40
	初級講座	7月31日(月) 13:10~15:40
	初級講座	8月7日(月) 13:10~15:40
	中級講座	8月21日(月) 13:10~15:40

【自己紹介】

わたしはmBotです。超音波センサーを使って、障害物避けることができますよ。



わたしが上手に動けるようにプログラムを作ってね。

【当日の日程】

時 程
13:10~13:15
13:15~14:20
14:30~15:20
15:20~15:40

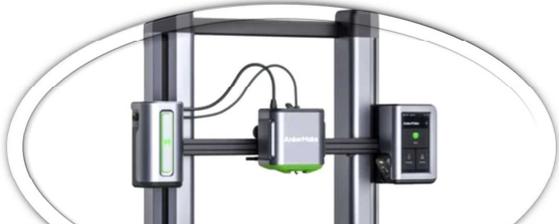
【募集要項】

- ◆ 募集対象：小学4年生～中学3年生 *中級講座は昨年度
- ◆ 定 員：各回10名 *先着順
- ◆ 参加費：300円(保険料・消耗品費、当日納金)
- ◆ 申込方法：電話 0475-53-5976 「さんむわくわく」
- ◆ 電話受付：9時～16時 (以下の6日間)
6月26日(月)、6月28日(水)、
7月3日(月)、7月5日(水)、
- ◆ 問い合わせ：NPO法人教育サポートGAA

Mail: gaa.wakuwakan@gmail.com
HP: https://gaasammu.wixsite.com/gaa

◇この活動では、主催者の広報活動や報告等のために写真/動画撮影を行いますが、本事業以外の目的にページや刊行物等に掲載することがありますが、本事業以外の目的に

【主催】 NPO法人教育サポートGAA 【後援】



3Dプリンターで作ろう！

パソコンで立体をデザインし、3Dプリンターを使って出力します。
作ったデータと作品は、持ち帰ることができます。

《日時》
令和5年12月10・17日(日)
9時30分～12時
2日間とも同じ内容で実施

《場所》
さんむわくわく館
山武市成東 2553-1

《対象》
中学生
各日6名

《持ち物》
うわばき 飲み物 筆記用具
USBメモリ



< こんな作品を作ります >

《費用》
800円 (保険料300円)
(材料費500円)

《申し込み》
期間：11月20日(月)9時から11月30日(木)12時
方法：右のQRコードからGoogleFormsに入り必要事項を記入
*定員になり次第受付を終了します。参加できる方には、11月30日にメールします。

NPO 法人教育サポートGAA
さんむわくわく館

0475-53-5976
(月・水・木 9～18時)
gaa.wakuwakan@gmail.com

書道・書き初め体験

- ◇ ねらい 席書や書初めの基本練習を体験し、納得のいく作品を仕上げる
- ◇ 日時 7月12・19日、12月27日
- ◇ 状況 ・終始和やかに練習し落ち着いて作品作りに取り組んでいた。
・参加者は仕上げた作品を手にしてとても満足していた。

参加者募集

わくわく書道体験(半紙)

千葉県席書大会に向けて練習会を行います。
(小学4年生～6年生対象)



- 1 日時 令和5年7月12日(水)、7月19日(水)
午後4時～午後6時
- 2 場所 さんむわくわく館 山武市成東2553-1 (浪切不動院)
- 3 対象 山武市内小学校4年生～6年生(書道教室に通っている)
- 4 定員 10名(応募者多数の場合は抽選)
- 5 参加費 300円(保険料等)
- 6 持ち物 書道用具(手本、半紙、大筆、小筆、墨汁、下敷き、レジャーシート、タオル・雑巾、新聞紙(1日分)、ウェットティッシュ、ビニール袋)
- 7 申し込み ◇ 方法 電話:0475-53-5976 「さんむわくわく」
◇ 受付 月日:6月16日(月)、6月28日(水)、
7月3日(月)、7月5日(水)
時間:午前9時～午後4時
◇ その他 定員を越えた場合は7月6日(木)以降に抽選結果を知らせます。
- 8 その他 ・マスクの着用は参加者の判断でおねがいいたします。
・悪天候等で中止する場合がありますが、お知らせいたします。

問合せ NPO法人教育サポート GAA
Tel : 070-3977-6600
Mail : gaa.sammu@gmail.com

体験者募集中

《小学4年生～6年生》



書道体験(書き初め)

12月27日(水)

《 電話申込 → 0475-53-5976 【さんむわくわく館】 》
受付 ⇒ 12月11日(月)・13日(水)・14日(木) 9:00～16:00

- 1 日時 2023年12月27日(水)、9:30～11:30
- 2 場所 さんむわくわく館 山武市成東2553-1 (浪切不動院)
- 3 対象 山武市内小学4年生～6年生(書道教室に通っているお子さんは除きます)
- 4 定員 10名(定員を越えた場合は抽選)
◇定員を越えた場合は、抽選結果を12月21日(木)以降に電話でお知らせします。
- 5 参加費 300円(保険料等)
- 6 持ち物 書道用具(手本、書初用紙、太筆、細筆、墨汁、下敷き、文鎮 他)
レジャーシート、タオル・雑巾、新聞紙(1日分)
ウェットティッシュ、ビニール袋
- 7 その他 マスクの着用は、参加者の判断でお願いします。
悪天候等で中止する場合は、電話でお知らせします。



問合せ NPO法人教育サポート GAA
Tel 070-3977-6600
Mail gaa.sammu@gmail.com



日本語交流会への協力

- ◇ ねらい 外国にルーツを持つ子どもたちの日本語学習を支援する。
(山武市教育委員会・城西国際大学共催)
- ◇ 日時 9月～2月(月1回) 17:30～18:45
- ◇ 状況
 - ・城西国際大学の学生が中心となって日本語交流(学習)会を実施した。
 - ・日本語カードを使ったゲームでは、身振り手振りを交えながら楽しく参加していた。
 - ・回を重ねる毎に学生との距離が縮まり日本語力が高まった。



運営スタッフ

- ◇ マネージャー
戸村恒夫
- ◇ サブマネージャー
前田恭弘
- ◇ スタッフ
鵜澤洋子 大木順子 小川洋子 佐瀬雅子
- ◇ サポーター
齋藤伸之 石井由美子 鵜澤政仁 井上敦子



さんむわくわく館

Tel : 0475 (53) 5976

Address : 千葉県山武市成東2553-1

Mail: gaa.wakuwakukan@gmail.com

Hp : <https://gaawakuwakukan.wixsite.com/my-site-1>

NPO法人教育サポートGAA

Tel : 070 (3977) 6600

Address : 千葉県山武市成東2553-1

Mail: gaa.sammu@gmail.com

Hp : <https://gaasammu.wixsite.com/mysite>

Supported by  日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

さんむわくわく館は日本財団の助成を受けて活動しています。